

ラオス国水道公社と
水道分野の強化に向けた覚書を更新します

令和5年11月10日（金）
市長定例記者会見

1 ラオス国との水道事業に関する協力関係

30年以上にわたる技術協力

- ・平成4年の現地調査団参加を契機に、ラオス国への水道技術協力を開始
- ・JICAの事業を中心に、職員派遣による技術指導、ラオス側研修生の受入を実施し、水道分野の発展に貢献



井戸の使用状況調査(1990年代)

覚書の締結

- ・平成23年に首都ビエンチャン水道公社と水道技術協力に関する覚書を締結
- ・平成28年にはルアンパバーン県、カムアン県を加え、主要3水道公社との間で覚書を更新



本邦研修(2000年代)

2 訪問の目的

目的

- ・ 覚書の更新
- ・ 現地での水道技術協力の実績と成果の検証
- ・ 今後の協力に向けた友好関係の構築と交流



H23(2011)・首都ビエンチャン
2011～2016(5年間)

日程

11月13日(月) から 11月17日(金)まで



H28(2016)・さいたま市
2016～2023(7年間)
※コロナ禍の影響により2年間延長

3 覚書の更新

名称

日本国さいたま市水道局とラオス人民民主共和国水道公社における水道分野の強化に向けた協力に関する覚書

期間

令和5(2023)年12月 から 令和10(2028)年12月まで(5年間)

特徴

本市を含む日本側の支援で令和3年に設立されたラオス水道協会を活用した、研修事業による協力成果のラオス全国への展開

4 その他の予定

- 公共事業運輸省表敬
- 首都ビエンチャン、ルアンパバーン県表敬
- ラオス水道協会表敬
- 浄水場、管路施工現場視察、水道教室視察 他



首都ビエンチャン
市長表敬 (H23)



浄水場視察 (H23)



小学生向け水道教室

5 今後の技術協力に向けて

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



水道技術指導 (OJT)



手洗いキャンペーン